

記載について

- 記載する際には、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
- 署名欄は申請者の自署でなければなりません。それ以外は申請者以外が記入しても構いません。
- 加筆・修正の際に印鑑や拇印を押す必要はありません。

氏名は戸籍に記載されている氏名を記載してください。

署名欄は必ず申請者本人が記載してください。なお、パスポートの署名と一致している必要はありません。

生年月日は西暦でも構いません。

第4号様式の3 (第7条の2関係)

在外選挙人名簿登録移転申請書

フリガナ	ナカツ	タロウ	生年月日	性別
氏名	姓 中津	名 太郎	昭和 51 年 5 月 5 日	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
署名 (必ず自署)				
本籍	大分県中津市豊田町14番地3			
旅券番号 (任意)	XX1111111			
転出先住所 [必ず記入]	住所以外の送付先 (在留届に記載予定の緊急連絡先) [希望により記入]			
(カタカナ表記)	アメリカ合衆国ニューヨーク州			
(外国語表記)	New York, NY 10171 USA			
<input type="checkbox"/> 旅券法第16条の規定に基づき提出する在留届に記載する住所(注意参照)	この欄は、在留届に記載予定の「在留地の緊急連絡先」において、選挙管理委員会が送付する投票用紙等を受け取ることを希望する場合のみ、当該「在留地の緊急連絡先」を書いてください。			
※カタカナ表記の「国名」は必ず記載すること。	(カタカナ表記)			
	アメリカ合衆国ニューヨーク州〇〇			
	(外国語表記)			
	〇〇, New York, NY 10171 USA			
住民基本台帳法上の届出(市町村への住民票の転出届)をした年月日	平成 30 年 6 月 1 日			
住民基本台帳法上の届出(市町村への住民票の転出届)に転出の予定年月日として記載された日	平成 30 年 6 月 10 日			
住民票に記載されていた最終住所	大分県中津市豊田町14番地3			

パスポートに記載されている旅券番号を記載してください。

カタカナで記載してください。漢字表記が一般的な国・地域においては漢字でも構いません。また、転出先の住所の詳細が分からない場合は国名だけ記載してください。

外国語表記は、英語で記載してください。漢字表記が一般的な国・地域においては漢字でも構いません。

上のカタカナ表記で国名だけを記載した場合は✓をつけてください。

必要に応じて申請者の被登録移転資格の確認のため連絡することもあり得ることから、必ず連絡が取れる連絡先を記入してください。

在留届の緊急連絡先において、選挙管理委員会を送付する在外選挙人証や投票用紙等を受け取ることを希望する場合に記載してください。在留届の緊急連絡先以外の連絡先を指定することはできません。

市役所に国外転出届を行った日を記載してください。

国外転出届に国外への転出予定日として記載した日を記載してください。

公職選挙法第30条の5の規定により、必要書類を添え、在外選挙人名簿への登録の移転を申請します。

平成 30 年 6 月 1 日
中津市 選挙管理委員会委員長 あて

連絡先	電話番号(※)	FAX番号(※)	メールアドレス
	000-0000-0000	000-0000-0000	XXX.XXX@XX.XX

※日本国内からも連絡がとれるように「国番号-地域番号-電話番号(FAX番号)」の順に記入してください。

※ 申請は直接、選挙管理委員会窓口で行う必要があります。また、申請時には本人確認ができる書類(本人の顔写真がついている書類:パスポート・マイナンバーカード・運転免許書など)が必要となります。

問合せ先

中津市選挙管理委員会
電話 0979-22-1111(内線591)